

※一部非公開

令和二年度入学試験問題（後期日程）

## 小論文

人文社会学部 国際法政学科

### 注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、設問は二問ある。それぞれ指定された面に解答すること。
- 四、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 五、解答時間は、一二〇分である。
- 六、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 非公開

### 問題

次の文章は、「マスメディアにおける貧困報道」について論じたものです。この文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問一 この文章で述べられていることを要約しなさい。(四〇〇字以上、六〇〇字以内)

問二 本文では、マスメディアの描き出す「現実」と客観的な社会の現実が乖離することがあると指摘されている。マスメディアの報道と社会の実態が乖離することでのどのような問題が生じると考えられるか、本文で述べられている福祉給付の不正受給の事例以外の事例を具体的にあげて、あなた自身の考えを論じなさい。(四〇〇字以上、六〇〇字以内)

非公開

（津田正太郎、「彼ら」とは誰か」、大賀哲ほか編、『共生社会の再構築Ⅱ』、法律文化社、二〇一九年、三六〇～三九ページ、抜粋・一部  
改変）

注釈

※捕捉率…ここでは、生活保護を受給する資格のある人のうちで、実際に生活保護を受給している人の割合を意味する。

令和二年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文の出題の意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で必要な能力をどの程度持っているかを見ることである。

問一は、マスメディアの貧困報道が抱える問題点を論じた文章を読ませながら、その内容を理解し適切に要約させることで、本学科のアドミッション・ポリシーである、①人間社会や社会科学への深い関心の有無を判断することを目的としている。

問二では、本文の内容を踏まえたうえで、具体例をあげながらマスメディアの報道によって生じうる問題を自分自身の考えにもとづいて論理的に説明することを求めている。これは、本学のアドミッション・ポリシーである、②柔軟かつ総合的な思考力と、③主体的に学ぶ意欲の有無を問う問題である。